Back Number

本論文は

世界経済評論 2020 年 3/4 月号

(2020 年 3 月発行)

掲載の記事です

世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料
1,320円×6冊＝7,920円 ▶ 6,600円 税込
17% 送料無料 OFF

富士山マガジンサービス限定特典
定期購読期間中 デジタル版バックナンバー ※通巻682号以降 読み放題!!

世界経済評論　定期購読

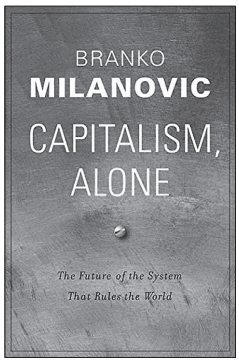
[24時間・年中無休]
0120-223-223

お支払い方法
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

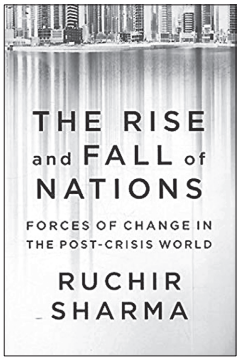
Fujisan.co.jp 雑誌のオンライン書店

Capitalism, Alone
：The Future of the System That Rules the World
The Rise and Fall of Nations
：Forces of Change in a Post-Crisis World

桜美林大学 アジア文化研究所所長 猪口 孝



［著者］Branko Milanovic
［発行］Harvard University Press, 2019
［価格］3,600 円より（ハードカバー）



［著者］Ruchir Sharma
［発行］Penguin Books, 2016.
［価格］3,365 円より（ハードカバー）

前書は実証的でありながら，議論は大胆かつ堅実である。私は政治学的視点から世界経済を見ているとき，昨年一番読みやすく，読みごたえがあった。世界経済が複雑な変動を遂げているときには，明快に書かれた本が歓迎される。議論も結論もわかりにくいのは困る。短期的な分析だけでも長期的分析だけでも困る。ミラノビッチはセルビア出身（旧ユーゴスラビア）で，もう長いこと世界銀行に調査研究を続け，現在は米国の大学で教授をしている。このミラノビッチとならんで，世界経済をみる視点で評者の好んでいる著者はルチール・シャルマである。シャルマはインド・ラジスタン州出身で現在は米国のモーガン・スタンレイにいるが，投資会社で働いているので，長期的な予測を嫌うが，急激な変化をその蕾の時に指摘し，顧客に愛されている。どちらも英語を母語としてはいないが，分析と文章は母語としていない人より明快なだけではなく，機知に富む。

ミラノビッチは冷戦終焉後，とりわけ中国の台頭後には，「資本主義しかない」と本のタイトルにつけている議論を展開している。古典的資本主義，自由主義的資本主義はどの教科書にも出てくるが，自由主義的資本主義のひとつの展開としての新自由主義的資本主義へと変形し，その短所が目につきはじめた時に登場したのが，政治的資本主義である。その特徴は政府（党）が国家所有の物（土地）を巧みに換金したうえで，活用することによって，株式を使って資本を集めるまどろっこしく，ときには怪しげな方法を用いる新自由主義的資本主義を凌駕していきかねない。18 世紀末の中国とイングランドの経済規模を比較し，それを 19 世紀末，と 21 世紀初の 3 点をグラフにすると，西方対東方，あるいは植民地対宗主国と較べた時系列では前者が後者の経済力をリバランスする過程が浮きでている。

シャルマは，エマージング経済はなるべくして成長をしていると言う。先進国経済がノホホンとして居座りつづけ，新自由主義的資本主義的方法と称して，先進国がそろって最低経済成長率を記録し，チコちゃんに笑われるようになっている時，投資者に具体的なアドバイスを与える分析が展開されている。そのエマージング経済も 2008 年以降冴えない日々が続いている。シャルマの最近著はインドの 25 年間の民主主義を分析したものである。シャルマは毎年一回，インドの選挙を見に行っている。それは経済分析には政治があなどれない指標になっているからである。それは政府が政策をつくるからというよりは，市民が何を欲しているかを選挙などを通して示しているからだと言うのだろう。

両経済学者の本は，政治学を職業としているものにとって，心強い励ましである。とにかく納得できる。観察は鋭いし，文章は気が利いている。少し脱線するが，評者が最近書いたのが次の書物である。

Takashi Inoguchi and Lien Thi Quynh Le, The Development of Global Legislative Politics: Rousseau and Locke Writ Global, Springer, 2019

多国間条約を統計的に分析して，ルソーやロックの社会契約論を地球大に描いたものである。社会契約を地球規模で考えるとすると，現段階では，多国間条約を「擬似的社会契約の束」と概念化し，多国間条約を通して，地球政治と地球経済を考えようという書物で，著者が言うのも気が引けるが，大胆にして堅実，独創的にして実証的な学術書である。（いのぐち　たかし）